※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「NEXT　数学Ｂ」　（数研出版）						
副教材等	CONNECT　数学Ⅱ＋Ｂ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 数学は正しい論理の積み重ねです。定義を正しく理解しましょう。
- 問題の解答は、ただ覚えたりそれを真似して似た問題を解いたりするだけでなく、解答で重要なことは何なのかという本質をしっかり理解して身につけるようにしましょう。
- 「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

２　学習の到達目標

- 各単元の基本的な概念や法則を体系的に理解し、数学と社会生活の関りについて認識を深め、事象を数学的に表現・処理する技能を身につける。
- 日常の事象や社会事象を数学化し、問題を解決したり、その過程や結果を振り返り考察する力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活との関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	等差数列と等比数列	・数列と一般項 ・等差数列 ・等差数列の和 ・等比数列 ・等比数列の和	a:等差数列、等比数列の定義を理解し、一般項や和を求めることができる b:数列を自然数が定義域である関数と捉え、既習の関数と関連付けて考察できる c:複利計算について興味を持ち、その特徴を調べようとする	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	いろいろな数列	・和の記号Σ ・階差数列 ・いろいろな数列の和	a:和の記号Σの意味を理解し、計算することができる。また、いろいろな数列について一般項や和を求めることができる b:いろいろな数列から一般項を求める際に、初項を別で考える必要がある理由を説明できる c:自然数の和の公式から順に高い次数の累乗の和の公式を導こうとする	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
2学期	漸化式と数学的帰納法	・漸化式 ・数学的帰納法	a:漸化式の意味を理解し、基本的な漸化式の一般項を求めることができる b:数学的帰納法で証明した命題について、別の方法でも証明を行ってそれらを比較し、考察することができる c:様々な命題の証明に数学的帰納法を活用しようとする	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
	確率分布	・確率変数と確率分布 ・確率変数の期待値と分散 ・確率変数の和と積 ・二項分布 ・正規分布	a:確率変数や確率分布について理解し、各種の値を求めることができる b:具体的事象から確率変数を求め、その期待値について考察することができる c:確率変数に関する公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

	統計的な推測	・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・推定 ・仮説検定	a:全数調査と標本調査について理解し、母平均・母比率に対する信頼区間を求めることができる b:標本平均が確率変数であることを理解したうえで標準偏差と関連付けて考察することができる c:仮説検定により様々な判断ができることに興味を持ち、現実問題の解決に役立てようとする	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題
3学期	数学と社会生活	・時系列データと移動平均 ・回帰分析によるデータの分析	a:データを用いることで変化の傾向や予測をすることができる b:データ同士の関係を理解し、それらの結果から特徴を正しく判断できる c:積極的にデータを分析したり予測しようとする	定期考査	定期考査	提出物 パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度